

教員名	原 史子	所属学科	地域づくり学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>本ゼミは社会福祉学（児童・家庭福祉）のゼミです。ゼミでは、子どもや家族の抱える生活課題を社会学・社会福祉学の視点から分析・理解し、支援の在り方を実証研究に基づき検討していきます。少子高齢化、国際化といった変化の中で、日本社会の在り方が問われています。子どもの育つ権利が保障され、誰もが安心して自分らしく生きることのできる地域・社会の実現に向けて、生活者の視点から具体的に考えていきます。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>子ども・家族と福祉の問題について「何かおかしい」「これは問題では」といった直感（各々の引っ掛かり=関心）から、なぜおかしいと思うのか、問題と感ずるのか、理由や背景を紐解いていきます。理由や背景がわかってきたら、相手にわかるように伝えます。各自の関心を出発点にして、児童福祉政策、家族福祉政策、地域福祉政策や社会福祉実践の在り方について議論していきます。</p> <p><b>基礎演習・演習Ⅰ</b>では、卒業論文のテーマ設定に向けた問題意識を醸成するとともに、研究活動のための基礎的なスキルを修得します。基礎演習・演習Ⅰの授業内容は、概ね以下の内容を予定しています。詳細はゼミ生と相談し決定していく予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 基本文献の輪読：クリティカルリーディングにより「考える」「発信する」ことの質を高めます。</li> <li>② プレゼンテーション：発表等を通し、他者に伝わる表現・方法を磨きます。</li> <li>③ ディスカッション：他者と意見を交わすことを通して論理的な思考を鍛えます。</li> <li>④ フィールドワーク：社会福祉は実践の学と言われています。学生の興味関心に応じて現地調査を実施します。</li> <li>⑤ レジюме・レポート・報告書の作成：レポート・論文の作法を修得し、文章作成をトレーニングします。</li> <li>⑥ 研究（論文）理解：研究のプロセス、論文の構造を理解します。</li> </ol> <p><b>演習Ⅰ・Ⅱ(3年終盤～4年)</b>では、各自の問題意識に基づきテーマ設定を行い、卒業論文の完成に向けて調査・研究を進めます。ゼミでは、研究計画、先行研究調査、調査計画・調査結果、アウトライン等について報告・討論を重ね、卒論を作成します。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>ゼミを通して福祉マインドを養うとともに、言語表現力など使えるスキルを身につけて、行政（地方公務員：福祉職）、一般・福祉系企業、NPO、医療・福祉分野で、あるいは一住民として福祉社会の創造、地域協働の実現に学んだことを活かせる・活かして欲しいと考えます。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>中村雄二郎（1992）『臨床の知とは何か』岩波新書 井出英策他（2019）『ソーシャルワーカー―「身近」を革命する人たち』ちくま新書</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>キャンパスにとどまらず経験を蓄積し、想像力・創造力を磨きましょう。その中で様々なことに興味を持ち、調べ、まずはゼミで発信してください。</p>			